

体験例 -2- 視覚障がい（白杖）体験

時間（準備・説明も含む）		場所	児童数	学年	スタッフ
140分	体験時間：90分（5クラス）	体育館	約180名	4年生	12名（内、ボランティア9名）

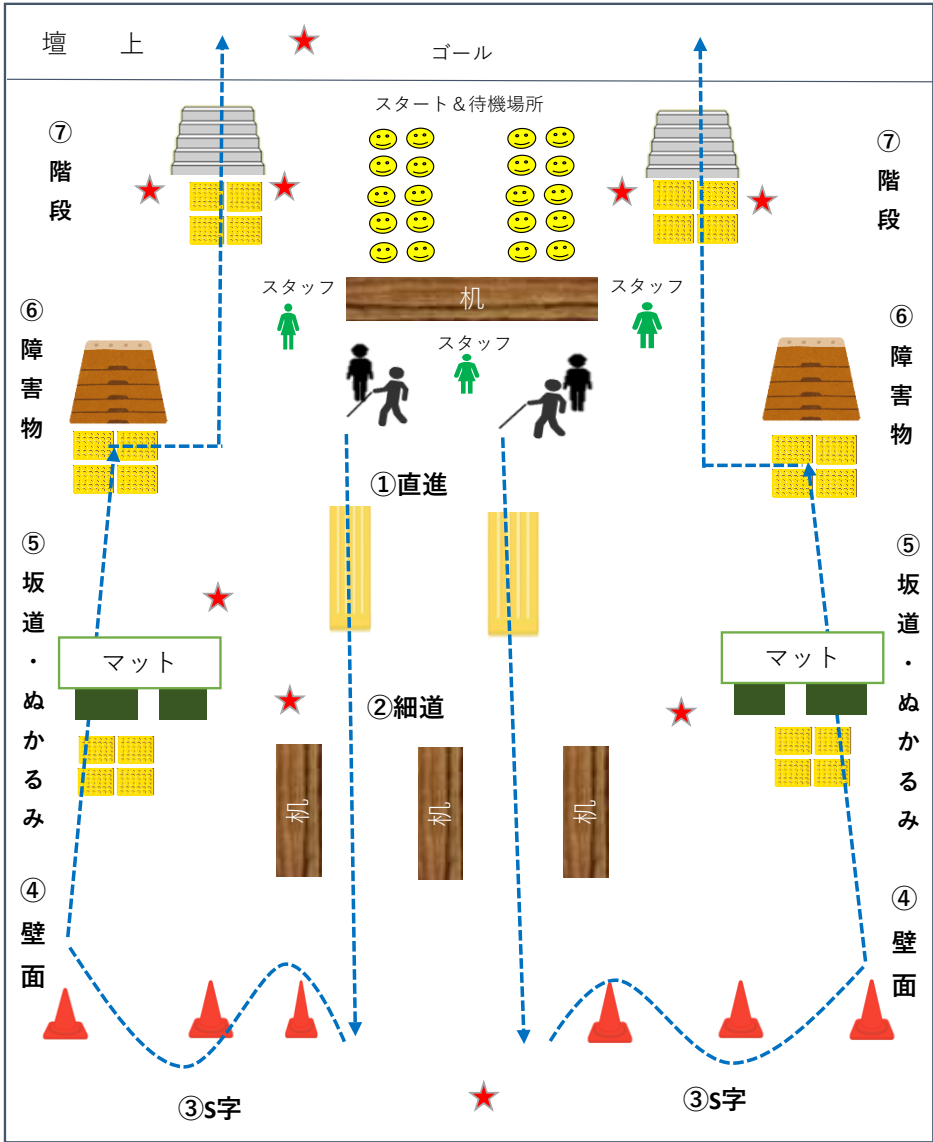
白杖体験（体育館の全面を使用）

*用意するもの

市社協		学校	
用具	数量	用具	数量
白杖	20本	机	4台
アイマスク	20枚	コーン	6個
点字/ポイント	6枚	踏切板	4個
点字/ライン	2枚	マット	6枚
		跳び箱	2個
		階段	2個

～学習のねらい～
障がいを持ちながら生活している人々について知り、視覚に障がいを持つ人と一緒に生活していくうえで、その方々に対して自分にできるサポートを考えましょう。

～気をつけていただきたいこと！～
当日はアイマスクをつけて曲がった道を歩行する体験学習をします。児童の皆さんが目の見えない状態でふざけたりすると非常に危険です。また、白杖などの道具も他の学校でも使用するものなので大切に扱っていただくよう指導ください。



- ①直進
点字の上を歩きます。
- ↓
- ②細道
長机の間を歩きます。
- ↓
- ③S字
コーンの間を歩きます。
- ↓
- ④壁面
アイマスクつけてる人が
壁をさわりながら歩きます。
- ↓
- ⑤坂道・ぬかるみ
マットの上を歩きます。
- ↓
- ⑥障害物
跳び箱の前で止まり、障害物をよけて歩きます。
- ↓
- ⑦階段
階段の前で止まり、階段をのぼります。